

伊勢志摩の歴史的・文化的なみどころ

伊勢志摩国立公園は、長い歴史と深い文化的ルーツを持つ日本の心のふるさとです。ここには、日本で最も格の高い神社である伊勢神宮をはじめとする重要な場所が数多くあります。

伊勢神宮の伝統は 2,000 年以上にわたって受け継がれてきました。天照大御神を祀っている伊勢神宮は、神社全域に静謐な雰囲気を出す「宮域林」と呼ばれる鎮守の森にとりかまれています。

標高 555m の朝熊山山頂は、公園内の最高地点です。山頂付近には 6 世紀に創建された金剛證寺が立っています。金剛昌寺の奥の院へと続く参道は、高さ 8 メートルにもなる卒塔婆（木造の墓標）が立てられた墓地を通ります。

夫婦岩（Wedded Rocks）は、沖あいの海から突きだした一对の神聖な岩です。これらは、しめ縄（神道の伝統において物理的な領域と霊的な領域の境界の役割をする縄）で結ばれています。この縄は年に 3 回、「大注連縄張神事」と呼ばれる儀式で張り替えられます。